2022年5月

第140号

ぱれっと

㈱北日本ベストサポート
℡ 018-883-1888

戦争とロシア

　現在ロシアはウクライナと戦争をしている。連日生々しい戦争の悲惨な状況が、ごく当たり前のようにお茶の間に放映されている。建造物が破壊され軍人以外の民間人多数も犠牲になっている現実を毎日目にしていると、ついひとつひとつの出来事が単に日常の一コマのように錯覚してしまう。恐ろしいことだ。

　日本も明治時代「日露戦争」で世界最強のバルチック艦隊を破り勝利し、富国強兵の道を歩む事になるが、太平洋戦争末期にはロシアから徹底的に迫害を受けることとなった。

そもそも、日本とロシアは1941年4月に「日ソ不可侵条約」(日ソ中立条約と呼ぶ場合もある)を締結しお互いに攻撃しない条約を締結し、戦争をするためには1年前に通告することが条件となっていた。

1945年2月「米国・英国・ロシア三国首脳によるヤルタ会談」が行われロシアがそこで参戦するように促されたと言われているが、日本は1945年3月東京大空襲を受けロシアに講和の斡旋依頼などを行っている。それに対して、ロシアはのらりくらりと態度を明らかにせず、ドイツが降伏した3カ月後に、日本と締結していた「日ソ不可侵条約」を一方的に破棄することを宣言したのである。

1945年8月6日には広島に原爆が投下され、日本の敗北が決定的となった、そのタイミングでロシアは日本に宣戦を布告してきたのである。

同年8月8日から9日未明にかけて、ロシア軍は日本人が多数居住していた「満州」「朝鮮半島北部」「千島列島」へ侵攻してきたのである。

現地の日本軍の責任者が降伏を申し出ても、それを拒否し追い返したり射殺したり一方的に攻撃を加え、北方領土を占領した。

満洲や朝鮮北部に居住していた人たちは、命からがら逃げる羽目となったが女性へのレイプ、金目のものは略奪され、男性は約60万人がロシアに連行されシベリアなどの寒冷地帯に送られ「ラーゲリ」と言われる収容所で強制労働をさせられ、約10%の6万人が命を亡くしたと言われている。さらに、女性や子供たちも地獄のような逃避行の中で餓えや伝染病などで多くの尊い命を失っていった。

　近年、安倍元総理のもとで「平和条約」締結の機運が高まり、北方領土の一部返還も叶うのかなとの期待も高まったことがあったが、現在の状況では日本も自由社会の一員として、ロシアに対して厳しい経済制裁を加えており、当分平和条約締結はお預けの状況に逆戻りの状況となっている。戦後80年近く経過しても、やっぱりロシアは一筋縄では行かないとの印象を強くした。

　今回の戦争からわれわれ日本人は平和の大切さとともに自国は自らが自らの手で守る気構えの必要性を強く感じさせられている今日このごろである。

自分を現す三つの形

ニーチェの言葉

自己表現とは自分の力を表すことでもある。
その方法を大きく分けると、次の三つになる。
贈る。
あざける。
破壊する。
相手に愛やいつくしみを贈るのも、自分の力の表現だ。
相手をけなし、いじめ、だめにしてしまうのも、自分の力の表現だ。
あなたはどの方法を取っているのか。

【曙　光】

反対する人の心理

ニーチェの言葉

提示されたある案に対して反対するとき、よく考え抜いたうえで確固とした根拠があって反対する人はごく少ない。
多くの人は、その案や意見が述べられたときの調子とか言い方、言った人の性格や雰囲気に対して反発の気分があるから、反対するのだ。
このことがわかれば、多くの人を味方にできる方法が何かがおのずと知れてくる。
表現の方法、説得の仕方、物言いの工夫という技術的なものも確かにあるだろうけれども、それらの上には、技術では及ばないもの、つまり、意見を述べる人の性格や容姿、人柄、生活態度などがあるということだ。

【人間的な、あまりに人間的な】

心をもっと大きくする

ニーチェの言葉

考えを言うとき、わたしは持ちあわせている言葉で表現する。
言葉が少なく貧しいと、私たちの考えも小さく貧しいと言える。
たくさんの言葉を知ることは、実は、たくさんの考えを持つことになるし、ずっと広い可能性を手にすることになる。
これは生きるうえで利用できる武器の最大のものだ。
言葉を多く知ることは、この人生の道をとても歩きやすくする手立てになるのだ。

【曙　光】

市川　房枝（婦人運動家・政治家）

1893年5月15 日(明治26年)	愛知県中島郡明地村(現在の一宮市)で農業を営む父藤九郎と母たつの三女として誕生。
1912年4月(明治45年)	愛知県女子師範学校の第1期生として卒業。
1917年(大正7年)	名古屋新聞記者。
1919年(大正8年)	平塚らいてうらと日本初の婦人団体、新婦人協会設立。女性の集会結社の自由を禁止していた警察法改正を求める運動展開。
1921年(大正10年)	渡米しシカゴやニューヨークで働きながら合衆国の婦人運動や労働運動視察。
1924年(大正13年)	「婦人参政権獲得期成同盟会」結成。翌年「婦選獲得同盟」と改称、婦人参政権を求める運動を行った。
1945年12月17日	衆議院選挙法改正で婦人参政権(男女普通選挙)が実現した。
1950年11月9日(昭和25年)	新日本婦人同盟が日本婦人有権者同盟に改称され会長となる。公娼制度復活反対や売春禁止、再軍備反対等の運動に取り組んだ。
1953年(昭和28年)	第3回参議院通常選挙に東京地方区から立候補し初当選。
1968年(昭和43年)	国際連合に日本人女性を、と政治学者の緒方貞子氏を説得し国連日本代表団に加わり、同氏は後の国連難民高等弁務官となり活躍した。
1978年(昭和53年)	春の叙勲で勲二等宝冠章授与を辞退。
1980年(昭和55年)	第12回参議院通常選挙で87歳で全国区トップ当選。通算5期25年議員を勤めた。
1981年2月11日(昭和56年)	心筋梗塞のため死去。　享年87歳

オススメの *BOOK*

「背進の思想」

著者　五木　寛之　　出版社　新潮新書

著者の五木氏は昭和7年生まれ。90歳だ。「蒼ざめた馬を見よ」で直木賞。「青春の門」で吉川英治文学賞を受賞している。
本書は90歳の目で見た現代についてのエッセイだ。時代がAIやデジタル化が進み大きく変容しているが、90歳の目で今の時代を捉えての物言いだ。

くらしと保険のおはなし

年金のルールが人生100年仕様？

2022年度は年金制度改正で多くの見直しが行われました。今回は、改正点の１つである受給開始時期における選択肢の拡大についてです。

公的年金の受給開始年齢は原則65歳ですが、希望すれば60歳から75歳の範囲内で自由に選ぶことができるようになりました。

ただし65歳よりも前に繰り上げて受給した場合は１カ月につき0.5%減額されてしまいます。最大となる5年の繰り上げで60歳から受給を開始すると30％が減額されることになります。今回の改正では 4/1 以降60歳になる方を対象に、繰り上げ受給時の減額率が0.4%に変更され最大でも24％の減額幅に縮小されました。

逆に65歳よりも後に繰り下げて受給すると、1カ月につき 0.7％が増額されます。最大となる5年の繰り下げで70歳から受給を開始すると42％が増額されます。繰り下げについては増額率の変更はなく、4/1 以降70歳になる方を対象に受給開始時期の繰り下げ上限が75歳まで拡大されました。これにより最大で84％の増額が可能となりました。

単純計算で損得の分岐点を比較してみます。

改正後に60歳に繰り上げて受給開始した方と65歳から通常に受給した方は80歳10カ月が損得の分岐点となります。

次に65歳から受給した方と70歳から受給した方は81歳10カ月が分岐点となります。

そして、75歳まで繰り下げて受給開始した方は86歳10カ月が分岐点になります。

なお注意する点は、繰り上げ受給を選択した場合は、国民年金と厚生年金を一緒に繰り上げる必要があります。

逆に繰り下げ受給を選択した場合は片方だけを繰り下げることが可能です。

超低金利の中、年金の繰り下げの率はかなり魅力的ですが、年金増額で気をつけなければならないのは国民健康保険料などの医療保険料、介護保険料への影響です。雑所得が増えると、それに伴う保険料負担が増え年金増額の効果が薄れることもあるからです。

人の寿命は誰にも分かりませんので、損得勘定で答えはでませんが、例えば年金定期便を受け取った際は内容を確認し、若いうちから年金でいつまで続くか分からない老後生活をやっていけるかどうか自助努力も含め考えるきっかけにしてみては如何でしょうか。

【編集後記】

今回、太平洋戦争を含め、戦争にまつわる事柄について記載した。

多くの戦後生まれの人達にとっては、ほとんど頭の片隅にも残っていない物語のようなものだったと思う。

しかし、日本の歴史の一コマとして「原爆投下」や「ロシアの日本人60万人強制連行」「北方領土の不法占拠」など忘れてはならない事柄だと思う。

満洲や朝鮮北部からの逃避行の悲惨さについては「敗戦満州追想」(岩見隆夫著)、「満州難民」(井上卓弥著)などあるが、お薦めは「流れる星は生きている」(藤原てい著・作家の新田次郎の奥様で藤原正彦大学教授の母に当たる)是非一読願いたい。